

民主主義を守るための呼びかけ

COVID-19 のパンデミックは、世界中の人々の生命や生活をさらに脅かしている。それはまた、自由民主主義の将来を脅かす政治的危機でもある。

権威主義体制は、驚くべきことではないが、危機を利用して批評家を沈黙させ、政治的な権力の掌握を強化している。そして民主的に選ばれた一部の政府でさえ、法的拘束力、議会による監視、憲法秩序回復の時期に関係なく、人権を制限し、国家監視を強化するという非常事態権限を集結して、パンデミックと闘っている。議会は脇に追いやられ、ジャーナリストは逮捕され嫌がらせを受け、少数派は罪を負わされている。また経済的封鎖が社会構造そのものをあらゆる面で破壊しているため、最も脆弱な人たちは新たな危険に直面している。

抑圧はパンデミックの抑制に役立ちもしない。言論の自由の沈黙、平和的な反対者の投獄、立法上の監視の抑制、選挙の無期限中止は、公衆衛生を保護するためには何もしていない。逆に、自由、透明性、民主主義に対する攻撃は、政府と市民が行う危機に対する迅速かつ効果的な対応を、社会的により困難にしている。

現在のパンデミックが、政府が自由な情報の流れを抑制し、ウイルスの危険性に関する警告を罰した国で始まったのは偶然ではない。それは、国家の威信に有害な噂を広めると見なされた警告である。責任ある市民の声が抑制された場合、その結果は一国だけでなく、全世界にとって致命的になる可能性がある。

民主主義は単なる切望された理想ではない。それは、COVID-19 の規模と複雑さの危機に対処するのに最も適した政府の制度である。権威主義的プロパガンダの自給自足の主張とは対照的に、信頼できる自由な情報の流れ、政策オプションに関する事実に基づいた議論、市民社会による自発的な自己組織、政府と社会との間の開かれた関わりは、すべて、パンデミックと闘うための重要な資産である。そしてそれらはすべてが自由民主主義の重要な要素である。

民主主義を通してのみ、社会は危機に耐え忍び、困難に直面しても国の回復力を維持し、包摂的な参加と対話を通じて深い社会的分裂を癒し、犠牲は共有すべきとする確信を維持し、すべての市民の権利が尊重される。

民主主義を通してのみ、女性や若者を含む独立した市民社会は、公共機関と提携し、サービスの提供を支援し、市民が情報を得て関与し続けることを助け、社会的モラルと共通の目的意識を強化できる。

民主主義を通してのみ、フリーメディアは人々に情報を提供する役割を果たせ、個人や家族は健全な意思決定が行え、政府や公共機関を精査し、社会を引き裂こうとする偽情報に対抗できる。

民主主義を通してのみ、競合的ニーズと優先順位との間に持続可能なバランスをとることができる。それはウイルスの蔓延との闘いと経済的安全の保護との間であり、また危機への効果的な対応の実施と憲法の規範と保証に基づいた人々の市民的政治的権利の保護との間である。

民主主義だけが、法の支配はパンデミックを封じ込めるのに必要なものをはるかに超えて、国家の侵入と拘束から個人の自由を守ることができる。

民主主義だけが、公的説明責任のシステムが政府の緊急事態権限を監視し制限し、それらが不要にな

ったときには終了できる。

民主主義だけが、パンデミックの範囲と健康への影響に関する政府のデータを信じていることができる。

民主主義は、有能なリーダーシップと効果的な統治を保証しない。ウイルスを封じ込めるために最も効果的に行動した国は、民主主義国家が多く占めているが、パンデミックへの対応において機能が不十分で、人命と経済的安全に非常に高い代償を払った民主主義国家もある。機能が不十分な民主主義国家は、社会をさらに弱体化させ、権威主義者たちに道を開いている。

しかし、民主主義の最大な強みは、自己修正能力である。COVID-19の危機は警戒すべき目覚めの呼びかけである。そして私たちが大切にしている自由が危険にさらされていること、そして自由が当然であると考えてはならないことへの、緊急な警告である。民主主義を通じて、市民と選ばれた指導者らは学び成長することができる。それが今まで以上に重要になったことはない。

現在のパンデミックは、民主主義に対する恐ろしい世界的な挑戦である。世界中の権威主義者たちは、COVID-19の危機を、民主主義を弱体化させ、過去数十年の劇的な利益を逆転させようとする闘いの新たな政治的戦場として見ている。民主主義は脅威にさらされ、それを重大だと思ふ人々は、それを守るために、意志、規律、連帯を呼び起こさなければならない。危機に瀕しているのは、世界の人々の自由、健康、そして尊厳である。